



毎月20日は ペットフードの日

ペットとフードアレルギー

食物アレルギーとは

動物には、体内にウイルスや細菌が入ってくると、それを異物として撃退しようとするシステム（いわゆる免疫機能）が備わっており、体を守っています。しかし、体に必要な食べ物を異物（アレルゲン）として認識してしまうことがあります。この状態を食物アレルギーといいます。犬や猫では、若い時に多く、一般に皮膚症状や消化器症状が現れます。

食物アレルギーになってしまったら

犬では牛肉、乳製品、小麦、猫では牛肉、乳製品、魚などがアレルゲンになることが多いといわれますが、個々の動物によって異なります。そのため、詳細な検査によってアレルゲンを特定する必要があります。アレルゲンを特定出来たら、それらを含まないペットフードを選択して与えます。食物アレルギーに配慮した食事を家族が手作りすることは栄養バランスの点等からも非常に難しく、かえって健康状態を悪くしてしまう場合が多いので注意しましょう。

食物アレルギーで良く見られる症状

- ・肢先を良く舐める
- ・耳を振ったり、引っかいたりする
- ・眼が腫れぼったくなる
- ・涙目になる
- ・口の周りやおしりの周りを壁や床に押し付ける。
- ・若い時から皮膚のトラブルを繰り返している。

